

渡来の歴史と文化を訪ねる研修会 特別編を開催

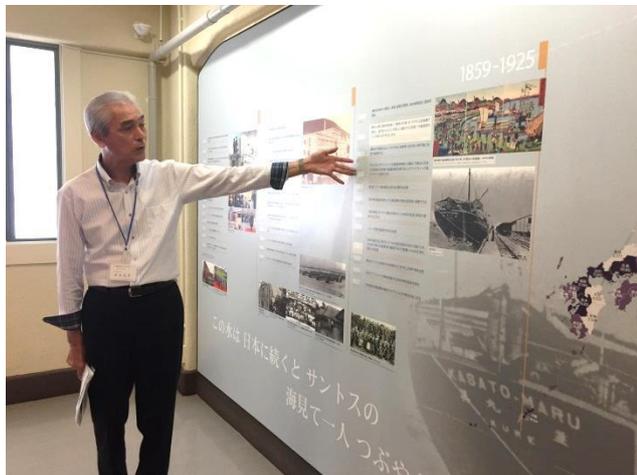
11月17日(金)、毎年恒例となっているこの研修会も、今年で11回目となりました。今年の日野町とブラジルエンブ市が姉妹都市であり、来年「ブラジル移民110周年」であることから特別編として「神戸市立海外移住と文化の交流センター」へ行きました。この建物は、南米を中心に多くの移住者を送り出した移住の歴史を物語る国内に唯一残された、生き証人といえる建物です。



神戸市立海外移住と文化の交流センター



再現されたベッドが並ぶ居室



日伯協会の専門調査員あまたつの天辰氏に案内していただいた110年前、なぜ国の政策としてブラジルへの移住が進められたのか、その歴史や背景について熱く語っていただきました。



神戸市立海外移住と文化の交流センター玄関前にて今回の参加者は総勢21名でした。参加者の中にはブラジル渡航経験者が何名もおられ、専門調査員の天辰氏に熱心に質問をされたり、移民が行われていたころについて懐かしく語り合う場面も見受けられました。

和気あいあいとした雰囲気での研修となりました。

シヨーン先生・恵子先生による やさしい英会話教室を開催

11月18日から12月16日までの毎週土曜日全5回にわたり、日野町在住のフミエツキ・シヨーン先生、藤田恵子先生夫妻による「やさしい英会話教室」が行われました。

教室は、小学校5年生からが対象となり、親子で来られる方や友達を誘って来られる方もおられました。また「わかりやすく楽しかったから」と、前回の参加者も何名もおられました。教室では、ウノゲームを使って遊びながら楽しく学びました。参加者からは、「先生方はとても丁寧にわかりやすく教えてくださいるので、楽しく学ぶことができました。」と好評でした。



みんなで質問しあって会話する

先生の質問に答えたり、受講者たちがお互いに質問をしあって答えたりと、実際に自分たちが英語で話すことにより自信を身につけていきます。

まずは、「話してみることに勇気が大切」とのことでした。